



人間系コロキウム

筑波大学 人間系コロキウム

ヴィゴツキー派ソーシャル
セラピューティクスと共生

第17回

講師: 茂呂 雄二

筑波大学人間系心理学域教授

2015年
7月22日(水)
15:00~18:00

人間系学系棟
B532

ヴィゴツキーの心理学は、現在活動理論や状況的認知論として展開しているが、一貫して人間の心の営みの社会性や集合性を前提としてきた。この発表では、ヴィゴツキー派のトレンドのうちで、もっとも共生 (Conviviality) と関連する、ソーシャルセラピューティクスについて紹介し現在私たちが行っている活動の一端を示す。ソーシャルセラピューティクスは、哲学者の故フレド・ニューマンがニューヨークで制作してきた、コミュニー建設のための方法論であり、共生の方法論ともなる。

共催

人間学類35周年記念事業

お問い合わせ

人間系研究戦略委員会
(コロキウム運営担当)

✉ research@human.tsukuba.ac.jp

Education
Psychology
Disability Sciences